

復興県民会議

被災者本位の日も早い復旧・復興を

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル 5F いわて労連内

☎ 019-625-9191

FAX 019-654-5092

eメール fukkou_ikg@fukkoukaigi.jpn.org

No.48 (2022/4/8)

5月29日(日)13時～青の国 普代村に集まりましょう

東日本大震災津波11年のつどいin普代村 開催決定！

村民わずか2,475人（2月末現在）の普代村は、海と山に囲まれた小さな漁村です。3.11東日本大震災津波では、普代水門と太田名部防潮堤によって辛うじて住家の被害を免れました。しかし、漁業施設は漁船、養殖施設、定置網、加工施設、冷凍・冷蔵施設などが大きな被害を受けました。国の支援制度を活用して漁業の再建を図りましたが高齢化による後継者不足がここでも大きな課題となっています。また、2016年の台風10号、2019年の台風19号では、山側からの大量の雨水と土砂が濁流となって住家を襲い被害が発生しました。震災の教訓をどう未来に伝えるか、村の持つ魅力を探るとともに、普代で頑張る村人の挑戦をぜひ学びましょう。

つどい①防災学習絵本「普代村を守った奇跡の水門」誕生秘話

大阪府茨城市にある追手門学院大学・地域創造学部の「普代村・村づくり支援プロジェクト」で製作された絵本「普代村を守った奇跡の水門」の誕生秘話。元村長（故人）の決断に思いを馳せながら水門に登ってみましょう。

つどい②「漁師」と「猟師」などユニークな人がいっぱい

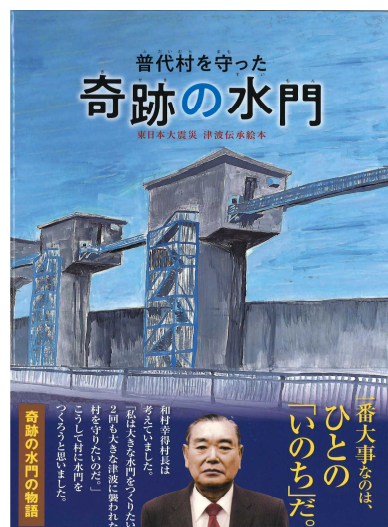
普代村には魅力的な村民がたくさんいます。その一人は、村商工会青年部のT君です。普段は「漁師」ですが冬場は「猟師」となって夏も冬も活躍しています。「水産加工」と「ジビエ」というユニークな取り組みをご紹介します。また、県外から普代村に移住して夫婦で手作り豆腐を売り歩いている方も出演します。当日は、エフエム岩手で「青の国から ふだいラジオ」のパーソナリティー石田麻衣さんがご出演してくださいます。

みどころ 北緯40度の青い空と海、ネダリ浜、アンモ浦展望台

青の国ふだい村は、海と空が交差し断崖を上り下りして楽しめる所です。黒崎展望台でカリヨンの鐘を鳴らすと、さわやかな音色が断崖にこだまし幸せな気分になります。ほかにもあまちゃんロケ地の堀内駅（朝ドラでは袖が浜駅）、まついそ公園、普代浜園地キラウミなど沢山の見どころがあります。つどい当日だけではとても時間が足りませんのでぜひ前泊でご参加下さい。つどい会場となる国民宿舎くろさき荘を前泊用に仮押さえしています。いわて旅応援プロジェクトがコロナ感染のため、現在停止されていますが、再開されましたらぜひ活用してお泊まり下さい。お申し込み方法は追ってご案内いたします。

おみやげとお食事

すき昆布で有名な普代村ですが、お土産品はそのほかにも、こんぶ^{うどん}鯉、昆布ら一めん、塩蔵わかめ、ふのり、マツモ、いかせんべい、かりんとう、干し椎茸、天然マイタケ、いくら、うに、普代おでん（缶詰）、普代サーモン、生たれカルビ・ホルモン、ほうれん草、昆布之介、コン・ブッセなど多種多彩です。お食事は磯ラーメン、蒸しウニ丼、焼き魚定食などなど。道の駅や村内イチオシの飲食店探しも楽しみですね。



7万筆の署名提出



署名提出（左から伊藤世話人、共産・紙議員、立民・鎌田議員、金野）

3月25日、衆議院第2議員会館において、被災者生活再建支援法の抜本的拡充を求める国会請願署名の提出集会が開催されました。2021年秋以降、全国で取り組まれた署名は、7万3164筆が全国災対連に集約されました。被災地を中心に手分けしてそれぞれの地元選出国會議員に紹介議員を要請し、日本共産党と立憲民主党の衆参の国會議員が紹介議員を引き受けてくださいました。岩手では、衆議院は小沢一郎議員、階猛議員、参議院は木戸口英司議員、横沢高德議員が紹介議員となりました。

当日は、委員会等の合間を縫って、共産党の田村貴昭衆院議員、武田良介参院議員、紙智子参院議員、立憲民主党の鎌田さゆり衆院議員が出席

し署名を受け取りました。各議員からのごあいさつの中で、紙智子参院議員は、3月16日の福島県沖地震の被害調査で宮城県山本町に調査に行き、東日本大震災で被災しやっと再建した「いちご農家」が今回の地震で高設栽培の棚が倒され、まるで赤い絨毯を敷いたようだったと話したことが印象に残りました。（その後、紙議員がいちご農家の再建を支援せよと国会で質問していた記事が出ていました）岩手から参加した金野は、仙台～福島が地震の影響で新幹線が不通のため前日に花巻空港から飛行機で移動して参加しました。その後、全国災対連の総会が開かれ、1年間の経過と今後の方針、決算、予算、役員体制について提案通り満場一致で採択されました。2022年の災害対策全国交流集会もこの2年間と同様に新型コロナのためオンラインで11月6日に開催することが決まりました。2023年は関東大震災から100年を記念した企画が東京災対連を中心に検討されています。

秋田、奈良から支援金を頂きました

3月24日、秋田県労連から今年も支援金を頂戴しました。奈良県労連からは、3月5日に開催された「3.5原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい」に350人が集まり、うたごえコンサートやミニ講演、デモ行進等が取り组まれ、寄せられたカンパから岩手にも支援金が届けられました。3.11から11年経ても息の長い支援を続けて下さる皆様に改めて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

釜石市からいわて労連に感謝状

釜石市から「東日本大震災のご支援に伴う感謝状の贈呈について」として去る2月4日、いわて労連に対して感謝状が贈られました。釜石では千人を超える市民が犠牲となり4千世帯が被災しました。いわて労連と復興県民会議は、全国から寄せられた義捐金や支援物資を沿岸市町村にお届けし、被災者本位の復興を求めて「いわて復興一揆」などに取り組んで来ました。今後も被災地・被災者との絆を大切に取り組みを継続していきたいと思ひます。

